#### 令和4年度「ホワイト物流」推進運動 オンラインセミナー

# 小林製薬の持続可能な物流体制の構築



2023年3月7日 小林製薬(株)製造本部SCM部 国内物流管理G 長岡裕輔

KOBAYASHI Pharmaceutical Co.,Ltd

#### 目次

- 小林製薬のご紹介
- 国内物流体制について
- これまでの取り組みのご紹介
- 今後の取り組み

# 小林製薬のご紹介



## 会社概要



創 立 1919年8月22日

資本金 34億5千万円

売上高 1,552億円

従業員数 3,451名(連結)

連結子会社 35社

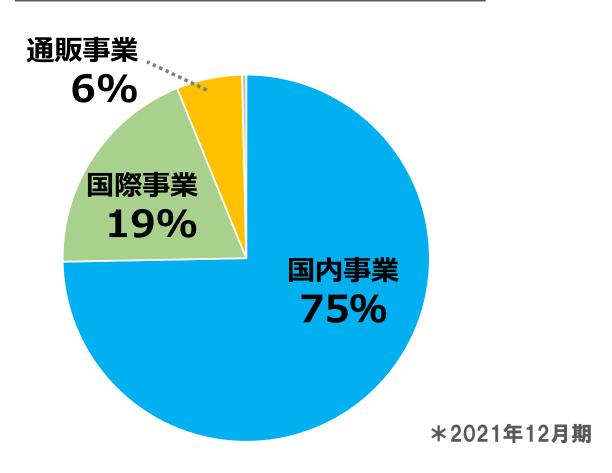
(2021年12月31日現在)

## 経営理念

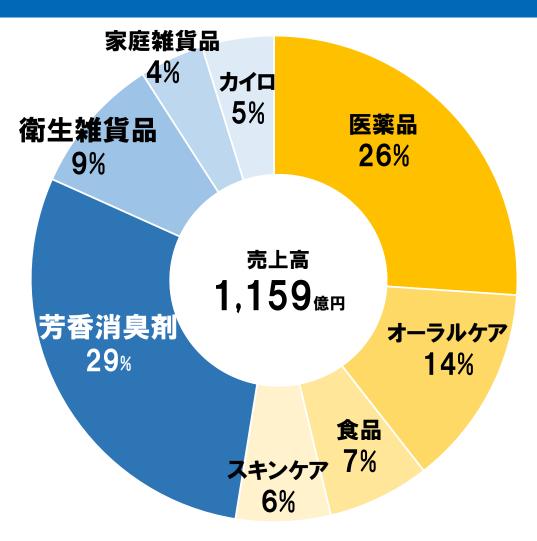
我々は、絶えざる創造と革新によって 新しいものを求め続け、 人と社会に素晴らしい「快」を提供する。 (1999年4月1日改定)

# 事業内容

## 連結売上高 1,552億円



# (詳細)国内事業



オレンジ:ヘルスケア事業部

青 :日用品事業部

\*2021年12月期

# 国内事業 主要製品

#### 医薬品関連

#### オーラルケア

























#### 食品





















# 国内事業 主要製品

#### 芳香消臭剤

#### 衛生雑貨品



























#### 家庭雑貨品















カイロ



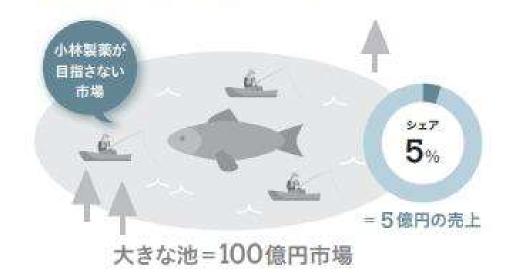
# 開発ポリシー=小さな池の大きな魚

#### 「小さな池の大きな魚」戦略

小さな池では競合が少ない。 高いシェアを獲得でき、高い利益を獲得できる。



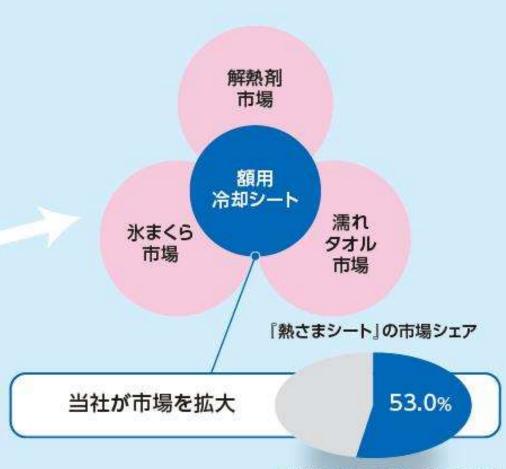
みんなが釣りに来るので、大きな池は競争が激しい。 同じ売上高でも高い利益が得られない。



# 開発ポリシー=小さな池の大きな魚

当社が創造した 額用冷却シート市場 解熱剤 市場 ※まくら 市場 市場



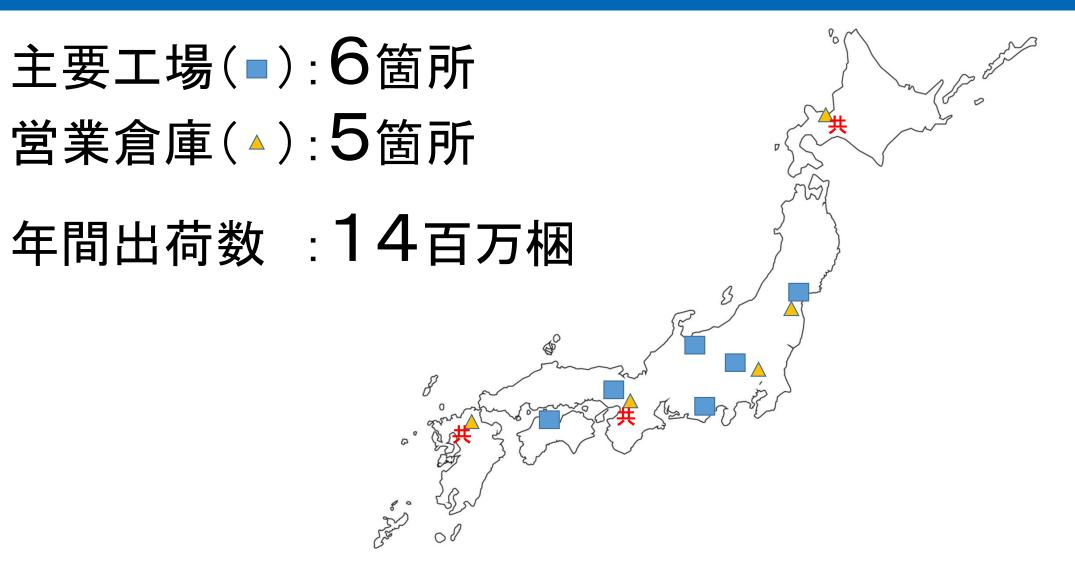


※国内における市場シェア(当社調べ)

# 国内物流体制について

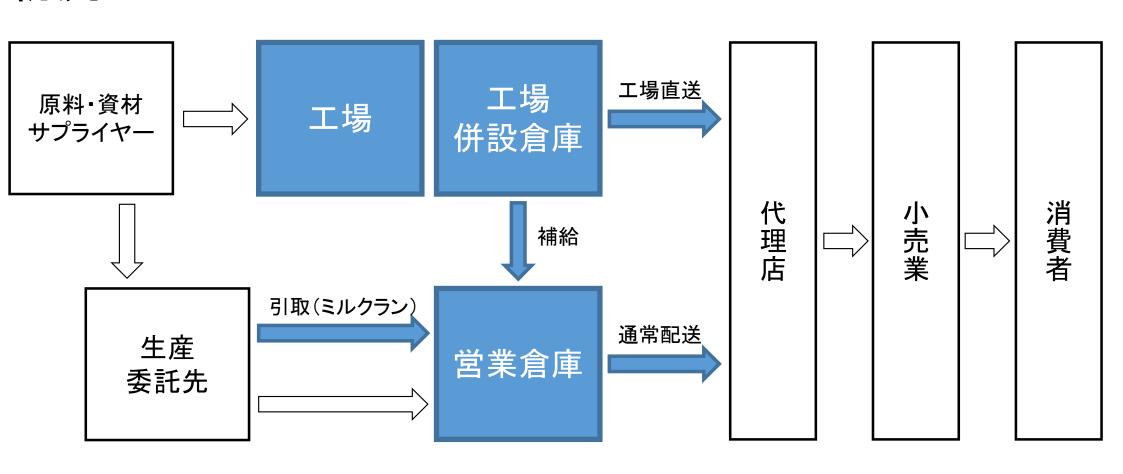


# 国内物流体制



# 国内物流体制

#### 物流フロー



# 取り組みのご紹介



## ホワイト物流宣言

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	Α	1	物流の改善提案と協力	・弊社工場からの物流事業者倉庫への配送および物流事業者倉庫から取引先への配送において 改善提案と協力要請を行って参ります。
2	Α	2	予約受付システムの導入	・卸店と予約システム採用を推進。テスト運用にも積極的に参加。
3	Α	3	パレット等の活用	・パレットを活用し、荷役時間を削減します。
4	Α	15	納品日の集約	<ul><li>・取引先から定曜日配送化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。</li></ul>
5	F	1	返品削減	・返品を抑える事で静脈物流のムダを削減します。
6				

PR欄

・弊社主要工場から着倉庫への配送は、キューブ型設計により荷積み、荷卸し時間の削減を図ると共に フルトラック輸送によるトラック使用台数の削減に取り組んでいます。

・また、卸店様への直送を拡大する事でさらなるトラック使用台数の削減に取り組んで参ります。

下線部分のキーワードを中心に、これまで物流環境の改善に取り組んで参りました。

### これまでの取り組み

- パレット化&キューブ化
- 引取物流(ミルクラン)
- 工場直送拡大
- モーダルシフト
- 入荷予約システムへの対応

#### パレット化&キューブ化

バラ積載からパレット化へ段階的に切替。また、トラック積載効率ダウンによる台数増加を抑えるため、製品仕様をキューブ化。



バラ積載



パレット化



キューブ化

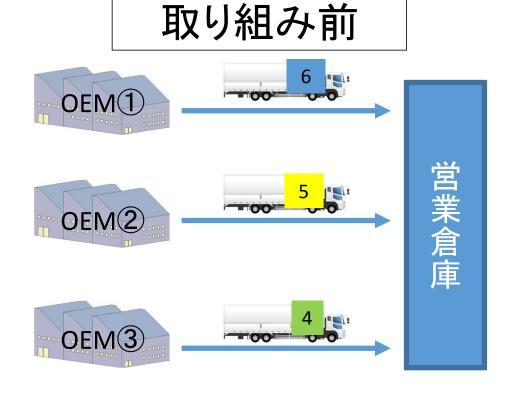
## パレット化&キューブ化

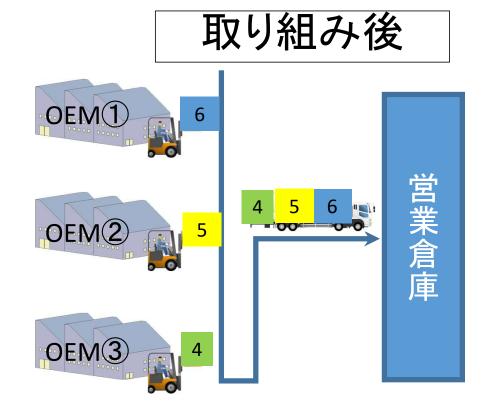
## パレット化&キューブ化による定量評価

	バラ積載	パレット化	キューブ化
トラック 荷台状況			
平均積載 可能数	1,500梱	960梱 <b>↓36</b> %down	1,280梱 <u>↓15%down</u>
平均荷下ろし 作業時間	2時間	0.5時間	0.6時間
生産性(梱/時間)	750梱/時間	1,920梱/時間	2,133梱/時間
		×2.8倍	

### 引取物流(ミルクラン)

2015年より生産委託先(OEM)への引取物流を開始。ミルクラン方式により営業倉庫への納品トラック台数を大幅に削減





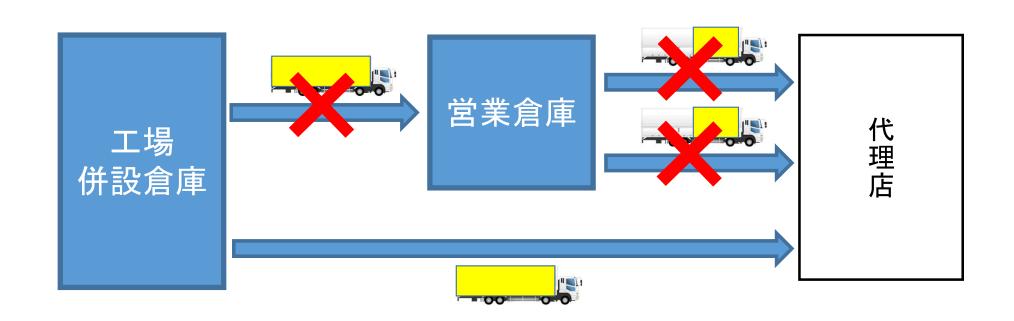
## 引取物流(ミルクラン)

### 引取物流(ミルクラン)による定量評価

項目	数值
引取対象先	45社
手配トラック台数	2,000台/年
物量構成比	70~80%
納品車両台数	▲816台/年

#### 工場直送拡大

代理店様との工場直送の取り組みを行うことで、ま とめ配送によるトラック台数の削減(=荷受け回数 の削減)を実現

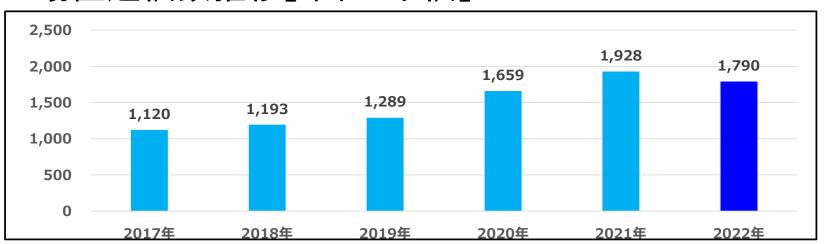


## 工場直送拡大

# 工場直送による定量評価

		削減台数
削減トラック台数	営業倉庫納品	▲1,490台/年
	代理店樣納品	▲300台/年

#### 工場直送梱数推移【単位:千梱】



#### モーダルシフト

## 長距離輸送についてのモーダルシフト(船・鉄道)、 また中継輸送について導入を進めている



◆仙台工場から関西営業倉庫までの輸送スケジュール

大和町 発	N日 12:00	
宇都宮 着	N日 17:00	
宇都宮 発	N+1日 3:00	
千葉中央港 着	N+1日 6:00	
千葉中央港 発	N+1日 12:00	
和泉大津港 発・着	N+2日 8:30	
大東市 着	N+2日 AM中	

#### ◆ポイント

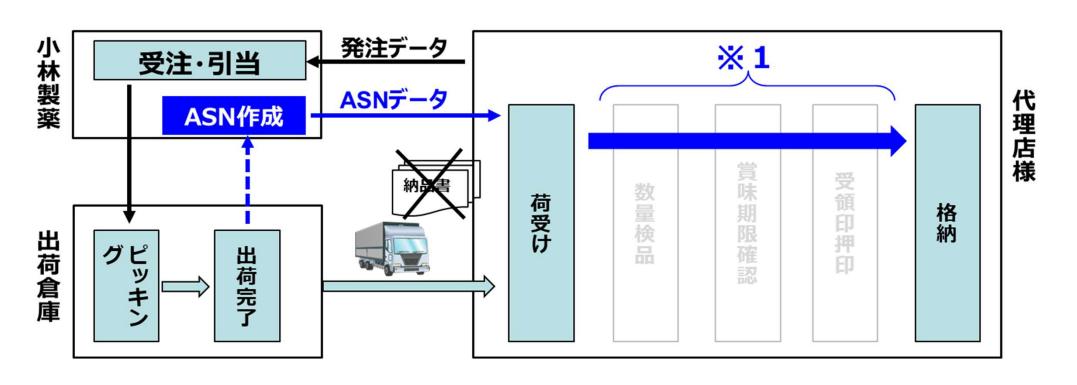
陸送スイッチも行う運行の為、全ドライバーが毎日帰宅できる

# 今後の取り組み



## ASNデータ活用による効率化

代理店様・同業メーカー様と協調し、業界でのASN データ活用を推進。※1にある業務を削減し、入荷 業務効率化を実現していく



### 原料・資材物流の取り組み

製品物流での取り組みを原料・資材物流にも展開し、製品物流以上にムリ・ムダが多いと推測される原料・資材物流の改善を実行していく

- JITに対応するための低積載→ミルクランの考え方の横展開ができないか?
- 非モジュール化による低積載→パレット化&キューブ化できないか?

ムリ・ムダの無い小林製薬流の 持続可能な物流体制の構築を 推進して参ります。



ご清聴ありがとうございました。